ISSN 1341-4046

埋文やまがた

2006年10月31日
第36号

上山市　中山城跡の第２次調査

「発掘やまがた最前線」平成18年度山形県埋蔵文化財発掘調査報告会開催のお知らせ

と　き：平成18年12月16日(土)13:00～16:30・17日(日)９:30～16:00
ところ：山形国際交流プラザ（ビッグウイング）　２階　入場無料
内　容：発掘調査報告、出土遺物の展示、**＜企画展＞**発掘された被災遺跡
＜体験コーナー＞勾玉つくり　など

財団法人　山形県埋蔵文化財センター
YAMAGATA PREFECTURAL CENTER FOR ARCHAEOLOGICAL RESEARCH
〒999-3161　山形県上山市弁天二丁目15番1号　TEL 023-672-5301㈹　FAX 023-672-5586
ホームページ：http://www.yamagatamaibun.or.jp
メールアドレス：kenkyuuka@yamagatamaibun.or.jp

2006年 発掘調査トピックス

今年度は国土交通省、県農林水産部・土木部からの委託を受けて、県内18遺跡・19件の発掘調査を行っています。今回はその中から5遺跡について、発見された生活の跡や当時の人々が遺した道具などをトピックスとして紹介します。

なお、ホームページでは各遺跡の調査状況を、速報として毎週お伝えしています。あわせてご覧ください。

(www.yamagatamaibun.or.jp)

発掘調査遺跡年表

年代	時代		今年度発掘調査遺跡
3万5000年前	旧石器時代	前期	
		中期	
		後期	
B.C.11000（1万3000年前）	縄文時代	草創期	
B.C.4000（6000年前）		早期	
B.C.3000（5000年前）		前期	上大作裏遺跡
		中期	中川原C遺跡 石畑遺跡 上野遺跡 山ノ下遺跡
B.C.2000（4000年前）		後期	加藤屋敷遺跡
B.C.1000（3000年前）		晩期	下叶水遺跡
B.C.300	弥生時代		上大作裏遺跡 加藤屋敷遺跡
紀元前 / A.D.1			
300	古墳時代		興屋川原遺跡 玉作1遺跡 岩崎遺跡 矢馳A遺跡
400			
500			
600	飛鳥時代		上大作裏遺跡 山ノ下遺跡 石畑遺跡 興屋川原遺跡 岩崎遺跡 檜原遺跡 加藤屋敷遺跡 天王遺跡 行司免遺跡 南田遺跡
700	奈良時代		
800	平安時代		
900			
1000			
1100			
1200	中世	鎌倉時代	檜原遺跡 天王遺跡
1300		南北朝時代	
1400		室町時代	稲荷山館跡 木の下館跡
1500		安土桃山時代	
1600	近世	江戸時代	中山城跡
1700			
1800			
1900	近代・現代		

沢沿いのムラと墓域！

小国町 下叶水（しもかのみず）遺跡

約3,000年前の、縄文時代終わり頃の集落跡です。調査により遺跡の中央部に遺る沢跡を囲むように、ムラが営まれていたことがわかりました。

埋まりかけて湿地となっていた沢跡は、ゴミ捨て場として使われていたようで、多量の縄文土器や石器、土偶などが出土しています。また、遺跡の東端からは墓が集中して見つかっており、ここがムラの墓域であったと考えられます。建物は規模の大きなものが多く、柱が倒れないように、石で根固めされています。

調査区全景

埋設土器（墓）

柱が根固めされている建物跡

沢跡の調査の様子

沢跡出土の土偶

古墳時代の大規模集落！

鶴岡市 矢馳（やばせ）A遺跡

調査区遠景

庄内平野南西部の水田地帯に位置し、大山川と湯尻川に挟まれた沖積地に立地する、60,000㎡に及ぶ広大な遺跡です。

これまでの調査で古墳時代後期の大規模な集落が確認されており、今年度は３次調査にあたります。

調査では、奈良・平安時代の方形の溝を巡らす掘立柱建物跡や井戸跡、古墳時代の遺物を含む川跡などが見つかっています。

畑の跡

調査中の竪穴住居跡

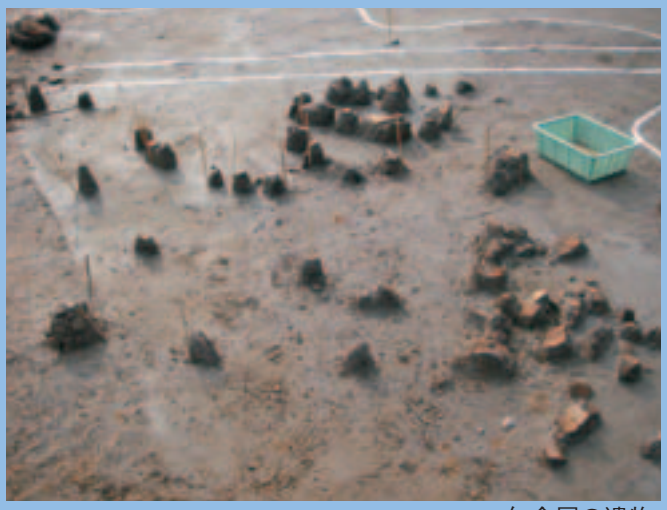
建物や井戸を囲む方形の溝

掘立柱建物跡

木組みの井戸

河川跡出土の木皿

調査区（上空より）


包含層の遺物

整然と並ぶ平安時代の建物群！

鶴岡市 興屋川原遺跡

庄内平野南西端部に位置し、大山川右岸の沖積地に立地します。かつてこの辺りは自然堤防と後背湿地が入り乱れる複雑な地形でしたが、現在は水田や畑となっており、標高約17mを測ります。

今年度は２次調査にあたり、平安時代の整然と並ぶ掘立柱建物跡群などが見つかっています。これらの建物跡は一般の住居とは考えにくく、何らかの公的施設であった可能性が考えられます。

南北方向に並ぶ２棟の掘立柱建物跡（４間×２間）

川跡から出土した古墳時代の土師器

← 東西方向に並ぶ２棟の掘立柱建物跡
（３間×２間）

古墳時代の刀子出土状況

中世の館と集落！

南陽市 天王遺跡

南東から取った写真です。調査区の右奥にある杉の木の下に、地元の方が「テンノウさま」と呼ぶ祠があります。

天王遺跡は米沢盆地の北縁、南陽市漆山に位置する中世の集落跡です。調査の結果、13～14世紀を中心とする遺構や遺物が見つかっています。

集落の西端に幅約８ｍの大規模な堀が見つかりました。地形などから館跡と考えられます。このムラの領主の館なのでしょうか。一部、造り出しのために堀幅が狭くなっているところがあり、ここが館の出入り口のようです。調査区の北側が館の中心部らしく、館の北西隅と考えられるところにある「テンノウさま」が館の屋敷神ではなかったかと考えられます。

中世前期の溝跡です。左側が埋まった後、右側に掘りなおされているようです。

幅約８ｍの堀跡です。２列目の人の部分が入り口と考えられます。

堀跡から出土した板碑です。

傾斜地に築かれた武家屋敷！

上山市 中山城跡（なかやまじょう）

中山城は戦国時代に築城されたと伝えられ、江戸時代は上杉氏の北の防衛拠点であった山城です。天守山と前森山の間の急傾斜で狭い場所に、上杉家家臣の武家屋敷（家中（かちゅう）屋敷）と段差のある曲輪（くるわ）跡があります。

調査の結果、整地・盛土された武家屋敷や曲輪跡から、道路跡・井戸跡・建物の柱穴跡や墓跡などを検出し、近世陶磁器や石臼などの遺物が出土しました。中でも、漆を濾すために用いたと思われる布が捻られた状態で出土したことにより、家中屋敷では漆塗りが行われていたと考えられます。また、置賜地方で一般的に出土する内耳堝も認められ、伊達氏と深いかかわりがあったことが推測されます。

縄文時代前期の深鉢

古銭と漆濾しの布

幕末～明治時代の旧道

↑ 江戸時代末の義歯（入れ歯）

16世紀の唐津焼き皿 →

遺跡からの町おこし（3）

長井市井岡「古代の丘 土偶広場」

←
長井市では、縄文時代中期の「長者屋敷遺跡」のそばに、巨大な土偶模型を展示しています。

→
湖のそばの広場に全国各地から出土した土偶が立ち並んでいます。中央のやや小さい２体は、山形県の土偶です。

←
周りでは毎年「縄文まつり」を催し、古代の丘資料館とともに、地域の歴史を知ることができる重要な役割を果たしています。

◆ 改革推進プロジェクトによる効率的なセンター運営事業の見直しを実施中 ◆

本年８月７日～10日までの期間にわたり、山形県埋蔵文化財センターは外部監査を受検いたしました。その結果、センター運営の見直しを含む重要なご指摘を受けました。当センターではこのご指摘を真摯に受け止め、センター運営の適切化を図るべく「センター改革推進プロジェクトチーム」を設置し、運営全般の見直し改善に取り組んでおります。

現在まで３回を重ねたプロジェクト会議では、課題の明確化と解決に向けての見通しを話し合い、PDCAサイクルを活用して業務の改善を推進していく方向性を打ち出しました。さらには、センター改革の要綱とも言うべく「改革プラン」を提示し、これから取り組むべき方向性を確認いたしました。今後、外部の専門家の方からのご助言もいただきながら、県民に対し責任あるセンター運営の方向性を見出していくこととしております。

「埋文やまがた」の購読について

広報誌「埋文やまがた」購読ご希望の方は，当センターまで電話にてお問い合わせ下さい。なお，郵送料はご負担いただきます。

電話 **023(672)5301**（代表）

編　集　後　記

12月17日の報告会では、県内８遺跡の調査成果について発表します。企画展では被災した遺跡の遺物や、写真を展示します。また体験コーナーとして、誰にでも手軽にできる勾玉つくりやアンギン編みに挑戦でき、手作りの品をお持ち帰りいただけますので、ぜひご来場ください。